



す ま い る

4園3小1中 箱根教育合言葉 「箱根を愛し、かしこく、やさしく、たくましく」

42日間の夏休みが終わり、笑顔の子ども達と2学期を迎えることができ、嬉しく思います。始業式では、夏休みのカレンダーを使いながら楽しかったことや経験したことを一人一人自分の言葉で伝え合いました。不自由な生活の中でも家族でカードゲームを楽しんだり、いところ遊んだり、ワクチン接種を終えた祖母母の方と再会したり、お手伝いを頑張ったりする姿が伺え、夏休みを楽しく過ごせたという感想でした。

職員は夏休み中、オンラインなどで研修を行い、保育するうえで大事にしたいことを改めて学ぶことができました。「子どもの興味関心があるときに、1番力が発揮される」「子どもの考えないスイッチを入れないこと」「思わずやりたくなるような環境づくり」「子どもに問いかけながら園での生活を作っていく」等、学んだことを2学期以降の保育に生かし主体的な姿を通して学びに向かう力を育てていきたいと思ひます。

「やってみよう」

1学期の大きなめあては「あいさつ」と「好きなことを見つけよう」でしたが、2学期の大きなめあてとして「やってみよう」ということを子ども達に伝えました。色々なことに興味を持ちまずは「やってみよう」という気持ちを持ってもらいたいと思っています。一人で夢中で取り組むこともあるでしょうし、初めてのことにはドキドキして躊躇することもあるでしょう。でも大丈夫です。そんな時は、友達が一緒にいてくれます。保育者がそっと支えてくれます。

1学期中も、始めはできるかな?と思っていたことも、やってみたら楽しかったり、方法がわかったりし、いつの間にか好きなことにならなっていくことがたくさんありました。そんな子ども達なので2学期もいろいろなことに興味を持ち、取り組んでいくであろうと期待しています。

一人一人の「やってみよう」を保護者の方も一緒に楽しんだり、見守ったりしてください。

・デルタ株のウイルス量は従来株の1200倍にもなるため、あらゆる世代に感染が広がっています。園内でも今まで通り、感染予防に努めますが、各ご家庭においても、手洗い、検温、健康チェックなどを行い感染予防と健康管理にご配慮ください。また、新型コロナウイルスの症状は風邪と大変似ているので、区別ができません。発熱だけでなく、鼻水、咳、倦怠感などの症状がある時は、受診をしていただき、体調のすぐれない時は休息をとるようにお願い致します。職員も同様の対応をし、感染予防に努めます。

「箱根の夏を楽しみました」

8月2日の登園日には、蝶の博士の白土信子さんと一緒にアサギマダラの観察会を行いました。例年、駒ヶ岳で行っていましたが、「子どもがもっと捕まえやすい所で」ということで、芦之湯の環境センターで行いました。

アサギマダラは蝶の中でもめずらしく渡りをする蝶で、春から夏にかけては南から北へ移動し、移動先で世代を重ねた後、秋になると南へ移動します。中には数千キロも移動する蝶がいるそうです。アサギマダラの幼虫はキジョランの葉を食べ大きくなります。キジョランは一夜城にも多くあるようでいつも白土さんから頂くと幼虫からきれいなさなぎになります。でも決まって成虫になるのは、5月のゴールデンウィーク中なので、その瞬間を見ることはできていないのですが、登園すると変身した蝶の姿に子ども達はいつも驚いています。

またアサギマダラは羽についている鱗粉が少ないので、その部分にマジックで捕まえた日や場所・名前を書き、また放すと南下した場所で見つけた人から返事が届くという、何とも不思議な魅力があるのです。この日は暑すぎたのか、生憎、アサギマダラと会うことができませんでしたが、ホソバセセリ、センジコガネ、セスジツユムシ、ばらいちごなどを見つけることができました。これからはしばらく飛んでくると思いますので親子で楽しんでください。羽の色がとてもきれいです。

